

## 霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

\* 当院では、下記の臨床研究を実施しております。

\* 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

\* 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

\* もし、診療情報提供をご了解いただけない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

\* 研究はあくまで日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様は何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	大腸憩室出血に対する留置スネアを用いた内視鏡的止血術の長期治療成績に関する後方視的検討 (30-19)
研究責任者の氏名 (部門)	消化器内科 廣瀬充明
研究の対象 (期間)	倫理委員会承認後 ~ 2019年6月30日
研究の目的	大腸憩室出血に対する留置スネアを用いた内視鏡的止血術の長期治療成績を評価することを目的とします。
研究の概要	2015年6月~2017年3月に「大腸憩室出血に対する留置スネアを用いた内視鏡的止血術の有効性の研究」の臨床試験に参加された患者様で、治療の有無に関わらず憩室症と診断された患者様が対象です。治療または初回検査からの1ヶ月以後の再出血の有無を調査します。そこで止血後30日以後の再出血の危険因子を同定することで、今後の再出血のリスクの高い患者様に対しての加療の方法や予防などを検討致します。今回の研究では、電話または外来で、治療から2018年6月までに再出血があったかどうかを伺います。この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。
研究に使用される項目	主なデータ項目は以下となります。 <情報> 病歴, 内視鏡所見, 血液検査 <試料> なし
個人情報の保護について	本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからない形で筑波大学消化器内科に提供されます。 患者さんの個人情報と研究情報を連結させることはありません。
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	研究代表者 溝上 裕二 (筑波大学 消化器内科)
備考	

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話：029-822-5050)